



本格利用する前に知っておきたい！ Power Platform のライセンス概要

2023/01 日本マイクロソフト株式会社

このWebinarの目的

Power Platform を本格利用する前に、ライセンス体系、それぞれのライセンスでできることを理解し、適切なライセンスを選択していただく



Agenda

- 無償・有償 Power Platform とは？
- 無償・有償 Power Platform できること
- 無償・有償 Power Platform の選び方

無償・有償 Power Platform とは？

Power Platform

- 無償版 Power Apps
- 有償版 Power Apps
- 無償版 Power Automate
- 有償版 Power Automate

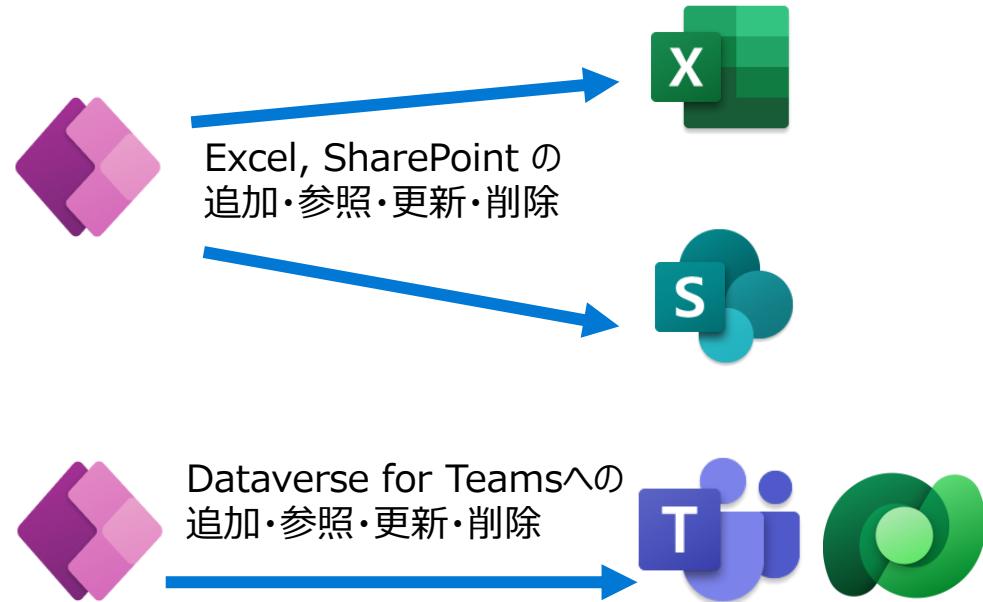


無償版 Power Apps とは？

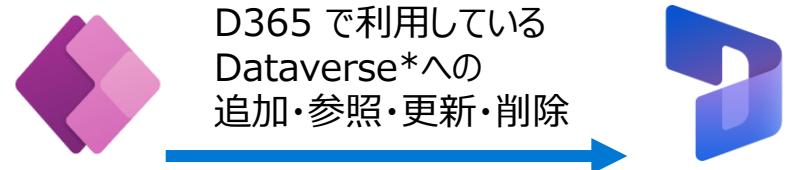
無償版

- Office 365(O365), Microsoft 365(M365), Dynamics 365(D365) ライセンスに含まれる Power Apps 使用権を指す(Seeded とも呼ぶ)
- O365, M365, D365 の拡張・カスタマイズシナリオで Power Apps を利用可
e.g. O365 ライセンスであれば、SharePoint や Excel を更新する Power Apps; D365 ライセンスであれば、D365 データを更新する Power Apps を作成し、利用することが可能

O365, M365 seeded の Power Apps



D365 seeded の Power Apps



*Power Apps は D365 アプリと同じ
環境内でなければならぬ

有償版 Power Apps とは？

有償版

- **Power Apps ライセンスのことを指す**(Standalone ライセンスとも呼ぶ)
- ライセンスは Per App プラン、Per User プランの 2 種類
- Dataverse や外部データソースをベースにした Power Apps を作成することができる
- Power Pages も利用できる

Power Apps per app プラン



アプリ単位のライセンス

¥540-/1アプリ/月

特定のビジネス シナリオのために個々のユーザーが**1つまでのアプリ**を実行し、Power Apps のフル機能を利用可能

Power Apps per user プラン



ユーザー単位のライセンス

¥2,170-/月

ユーザーが**無制限の数のアプリ**を実行し、Power Apps のフル機能を利用可能



Power Pagesの料金体系について

	認証ユーザー (1サイト/月)			匿名ユーザー (1サイト/月)		
前払い	Tier 1 (100 user~)	Tier 2 (10,000 user~)	Tier 3 (100,000 user ~)	Tier 1 (500 user~)	Tier 2 (10,000 user~)	Tier 3 (100,000 user~)
	¥21,743 (100user)	¥8,154 (100user)	¥5,436 (100user)	¥8,154 (500user)	¥4,077 (500user)	¥2,718 (500user)
従量課金	¥435 (1user)			¥33 (1user)		

それぞれのプランにDataverse の容量が付帯します。
詳細についてはPower Pages のサイトをご確認ください。
[Power Pages の価格 | Microsoft Power Pages](#)

無償版 Power Automate とは？

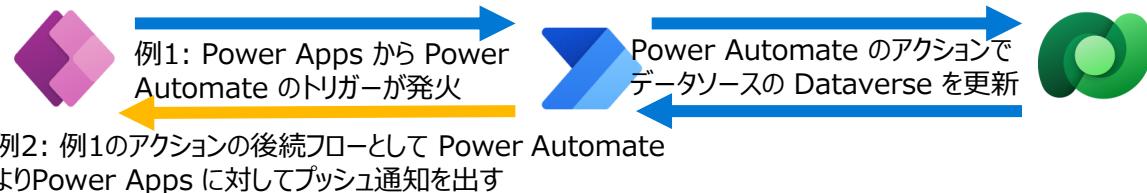
無償版

Power Apps(有償), O365, D365, ライセンスに含まれる Power Automate 使用権

Power Apps, O365, D365 Seeded の Power Automate

Power Apps seeded: Power Apps アプリ 内での利用に限定される

- Power Apps に組み込まれたトリガー、アクション、フローは以下にのみ接続可能
 - Power Apps で利用可能なデータソース: [例1](#)
 - Power Apps (トリガー/アクション経由): [例2](#)
- Power Apps に関連のないフローは有償ライセンスが必要



O365, D365 seededについては、上記[Power Apps]をD365, O365に置き換える



Power Apps 内の Power Automate 利用具体例

Power Apps ライセンスを持つユーザーが SQL DB をデータソースとして使ったアプリを実行し、以下のフローを含む場合



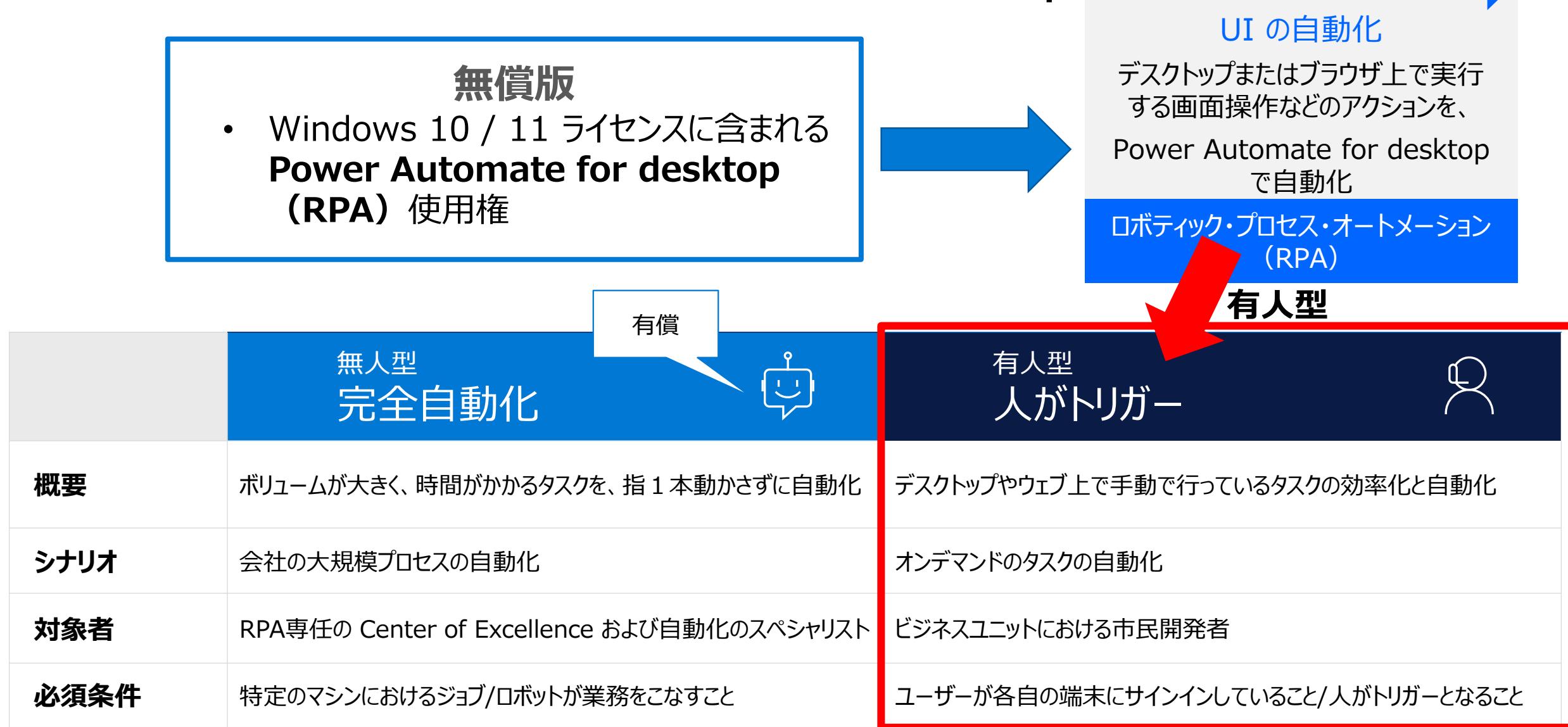
Power Apps 外の Power Automate 利用具体例

上記例と同じユーザーがフローを使って Oracle DB 更新したい場合で、

- Power Apps とは一切関連性がない
→有償 Power Automate ライセンスが必要



無償版 Power Automate for desktopとは？



有償版 Power Automate とは？

有償版

- **Power Automate ライセンスのことを指す**(Standalone ライセンスとも呼ぶ)
- ライセンスは Per Flow、Per User, Per User + 有人型RPA プランの 3 種類 + アドオンライセンス

Per Flow プラン
フロー単位のライセンス ¥10,870- /フロー/月
最小購入数 5 フロー
定められたキャパシティでフローを実装し、組織全体で無制限の数のユーザーが利用できる

Per user プラン
ユーザー単位のライセンス ¥1,630- /ユーザー/月

Per user + 有人型RPA プラン
ユーザー単位のライセンス ¥4,320- /ユーザー/月

無人型 RPA アドオン
ボット単位のライセンス ¥16,310- /ボット/月

Per user プラン
+ Power Automate for desktop

従量課金プラン Power Platform とは？

従量課金プラン

- **Power Apps / Automate の従量課金プランのことを指す**
- **使用した分だけ支払う料金体系**
- できることは**有償版**と同じ

Power Apps

アクティブユーザー : 1アプリ 1人当たり ¥1,120-

Dataverse File : 1 GB 当たり \$ 2.40

Dataverse Log : 1 GB 当たり \$ 12

Dataverse Database : 1 GB 当たり \$ 48

Per user ライセンスを持つユーザーには課金されない

Per app ライセンスとは共存できない

Power Automate (Preview)

クラウドフロー/有人 RPA フロー : 1実行当たり ¥65-

無人RPA フロー : 1実行当たり ¥326-

スタンダードの有償ライセンスを持っているユーザー、Per Flowプランを適用しているフローの実行に関しては課金されない

利用人数に季節性がある場合やトライアルでの利用の選択肢に

価格改定について

2023年4月からすべてのライセンス価格が15%引き上げされます。

2023年4月からの価格改定に関するご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

このたび、マイクロソフトでは日本円の為替変動に伴い、2023年4月から、コマーシャルライセンス プログラムを対象にした全てのオンプレミス製品を一律 20%, オンラインサービスを 15 % 引き上げを行うこととなりました。新価格は、2023年4月度の価格表から適用され、このタイミング以降の契約更新や新規契約のお客様に適用されます。

マイクロソフトは、ソフトウェア製品およびオンラインサービスの現地価格の影響を定期的に評価し、地域間の合理的な整合性を確保しており、今回の変更はその評価の結果により、米ドル水準に近い実勢価格に調整した結果となります。なお、ハードウェア (Surface 等) またはコンシューマ向けに提供している Windows, Office 及び Microsoft 365 サービス等は対象としておりません。

今回の価格変更に関する情報は貴社顧客および取引先に本情報を開示することができます。弊社からの公式なアナウンスメントにつきましては、こちらをご参照ください。今後とも、販売へのご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

無償・有償 Power Platform でできること

Power Apps



無償&有償 Power Apps 共通: キャンバスアプリ

フィールドワークを支えるキャンバスアプリ



- ・ タブレット、スマートフォン、Webなど、クロスプラットフォームでの利用
 - ・ キャンバスに絵を描くように、PowerPointライクに画面をデザインし、Excelの関数ライクに処理を記述
 - ・ ユーザーのインプットが容易な豊富なコントロール
 - ・ Power Automate連携による、容易なデータ活用
 - ・ 開発生産性が高く、アプリケーションのリリースサイクルを大幅に削減

有償 Power Apps：モデル駆動型アプリ

(※D365付帯Power Appsでも使用可能)

オフィスワークを支えるモデル駆動型アプリ

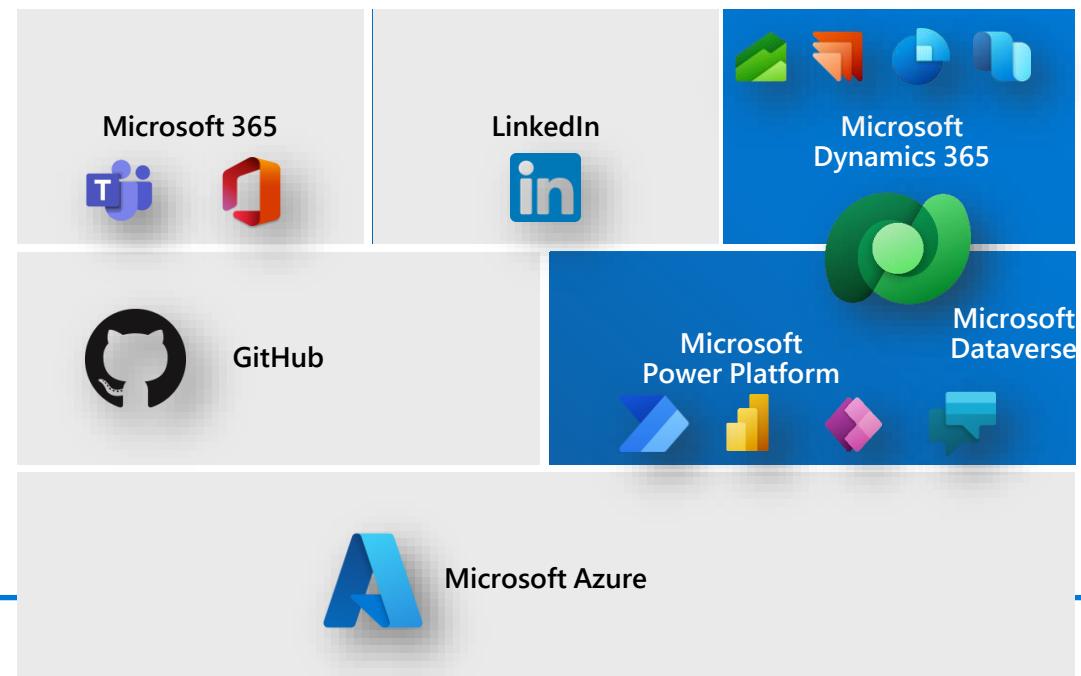


- Webベースのアプリケーション
レスポンシブUIで、スマートフォン、タブレットで利用可能
- ビジネス プロセスを定義し、「正しい処理」と「現在の状況」を明確化
- Word、Excelと連携し、複数のデータを一括変更などを標準機能として搭載
- 1画面に複数の関連する情報をダッシュボードに集約可能
- 既にDynamics 365 Customer Engagementとして、利用されているUCI
(Unified Client Interface)機能

有償 Power Apps : Microsoft Dataverse

(※D365付帯Power Appsでも使用可能)

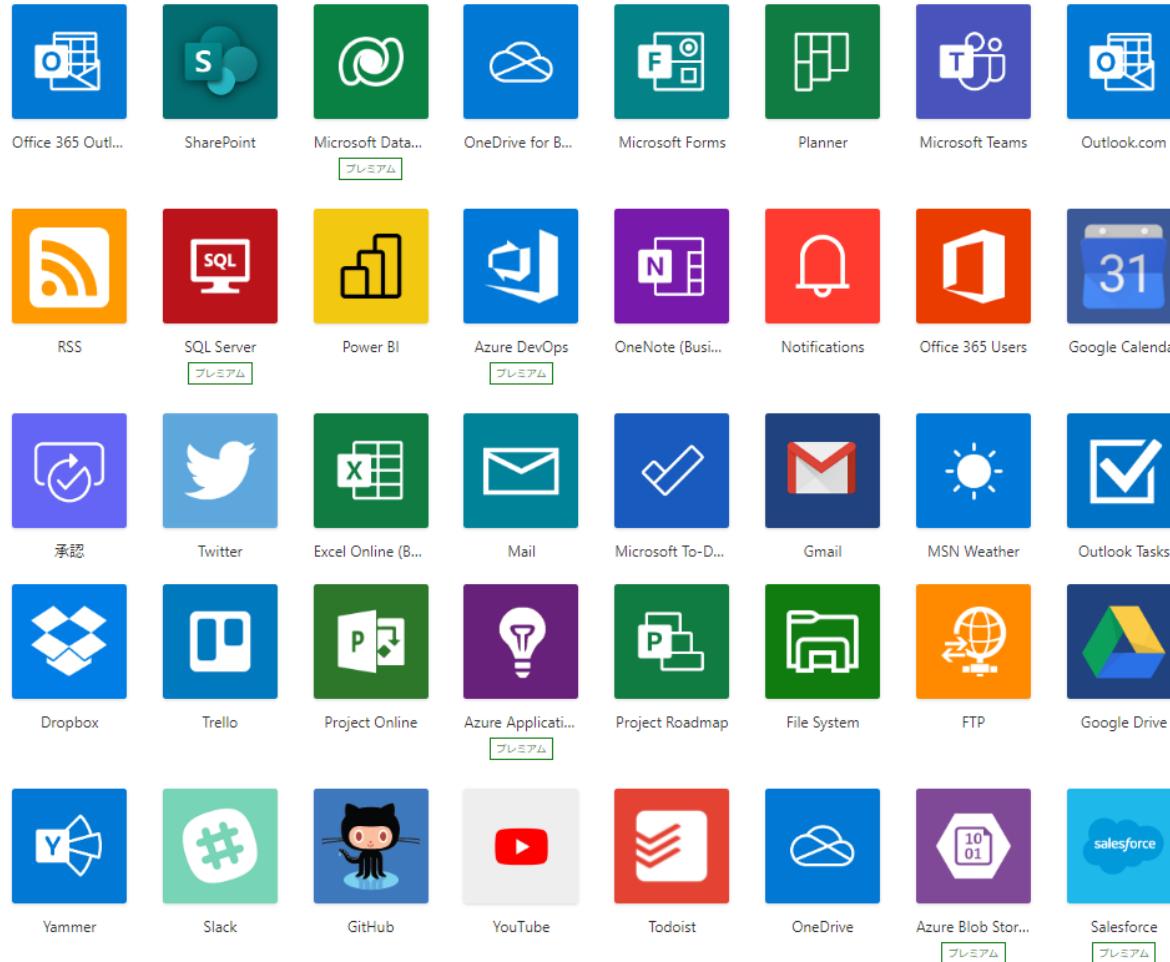
- Power Platform・Dynamics 365 で提供される市民開発者からプロ開発者まで利用できるローコードなデータ基盤
- エンタープライズ利用にも耐えうる、高度なセキュリティ機能とインフラを SaaS のプラットフォームとして提供
- 利用範囲はPower Platformに閉じず、Web API や SDK 等の拡張機能も提供



Identity, security, management, and compliance

無償/有償 Power Apps : 使用可能なコネクタ

Power Platformでは、データソースやサービスへの接続にコネクタを使用

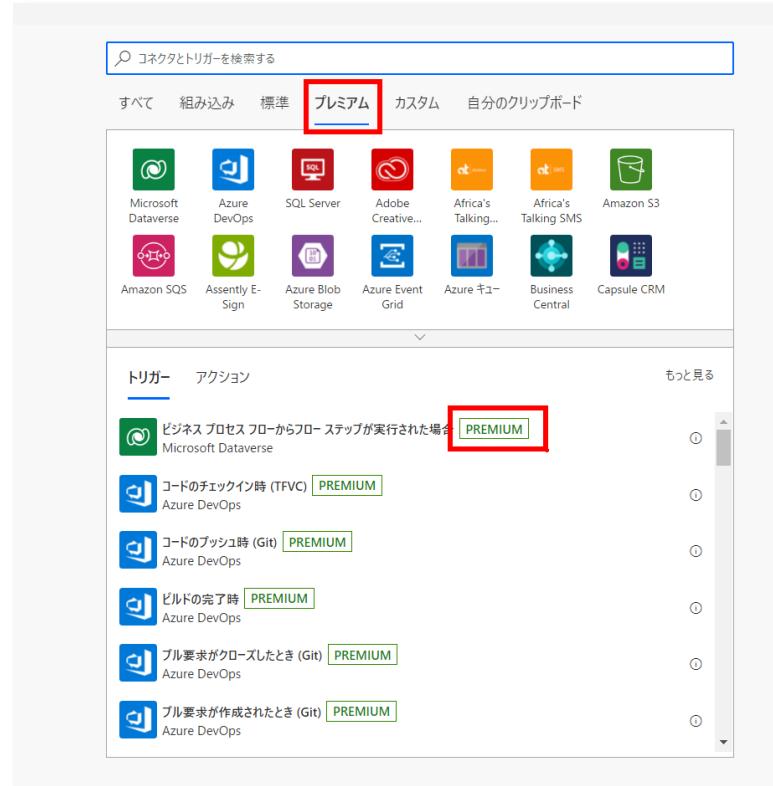


- ・コネクタには、標準コネクタ、プレミアムコネクタ、カスタムコネクタがある
- ・無償で使用できるのは標準コネクタのみ
- ・有償ではプレミアムコネクタ、カスタムコネクタも使用可能

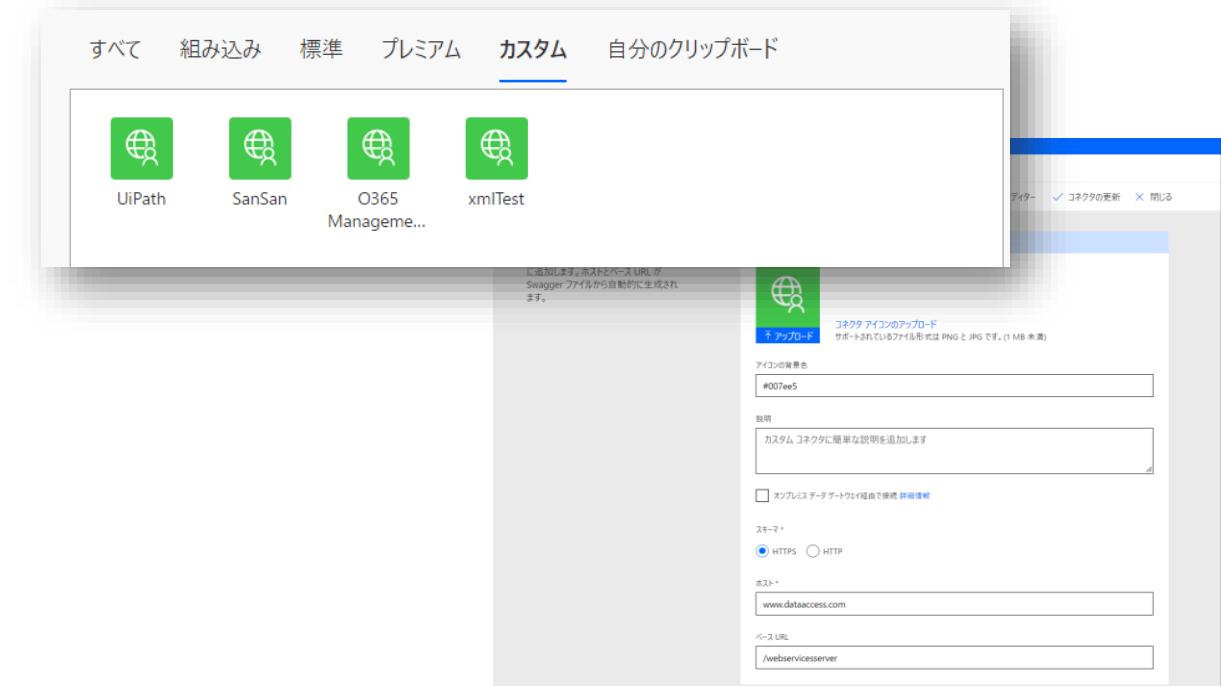
※ライセンスの種類により、
1日当たりに可能なAPIコール数の上限が異なります

有償 Power Apps : プレミアムコネクタ / カスタムコネクタ

プレミアムコネクタ



カスタムコネクタ



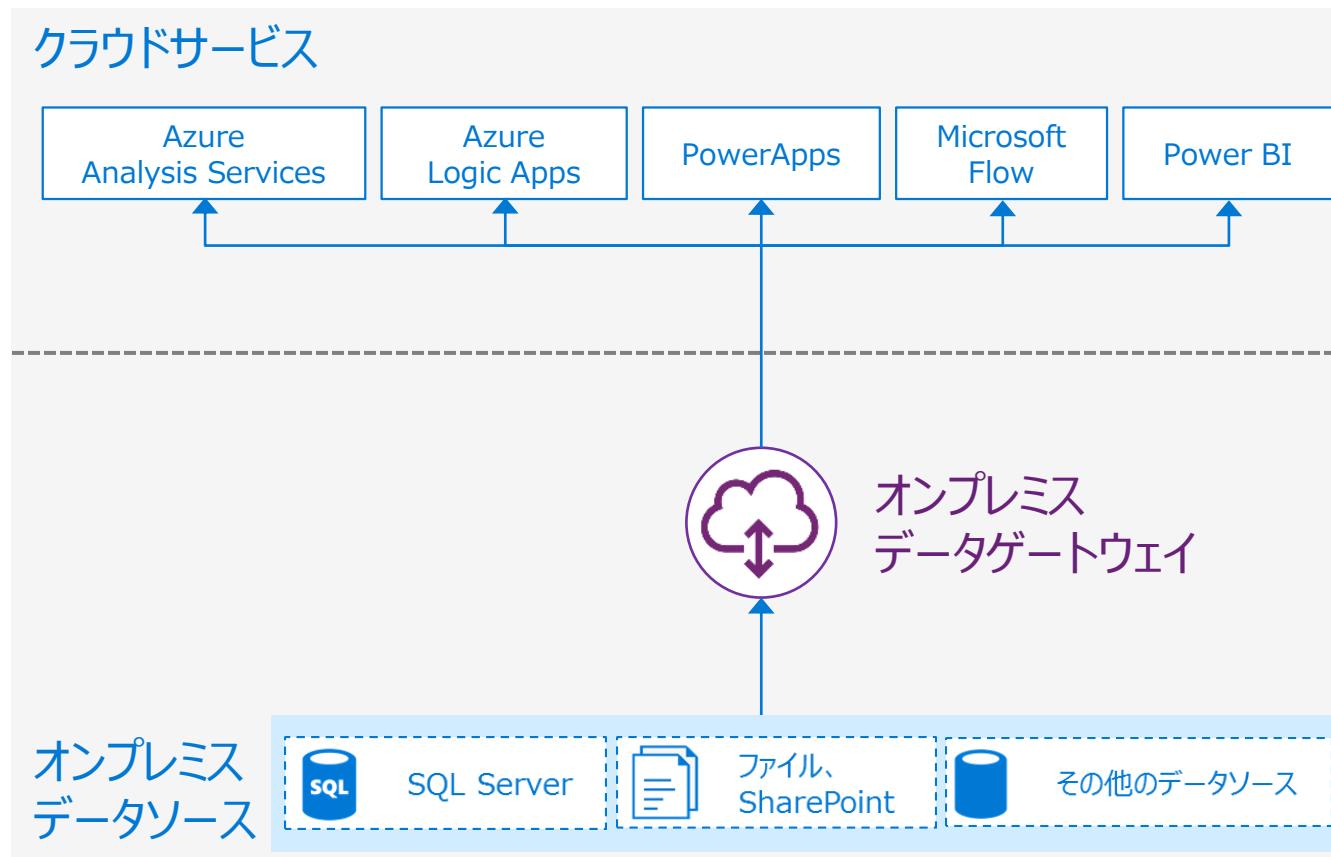
DataverseやSQL Server、Oracle DB、SAP、Azure、HTTPコネクタといった本格的な業務システム連携が可能

Power Platformがコネクタとして標準では提供していない、3rd Partyサービスや、API、自社システム等との接続を可能にするカスタムコネクタを作成可能

有償 Power Apps : オンプレミステータゲートウェイ

オンプレミステータゲートウェイを利用すると、オンプレミスで管理されているデータに Power Apps からアクセスすることができるようになります。

ゲートウェイはインストーラから簡単にインストールでき、Outbound 通信のみで動作します。



- Power BI、Power Automate、Power Apps からオンプレミス上のデータを扱えるようになる。
- 1つのゲートウェイだけで複数のサービスから同時に利用が可能
- ゲートウェイはデータソースとなるインスタンスと別のインスタンス上にデプロイした構成も可能
- 全てのデータは圧縮され、暗号化された経路でやりとりされる。
- ゲートウェイからのトラフィックはアウトバウンドのみの通信で動作する。

有償 Power Apps : Power Pages

組織内・外のユーザー向けの、
レスポンシブなWebサイト



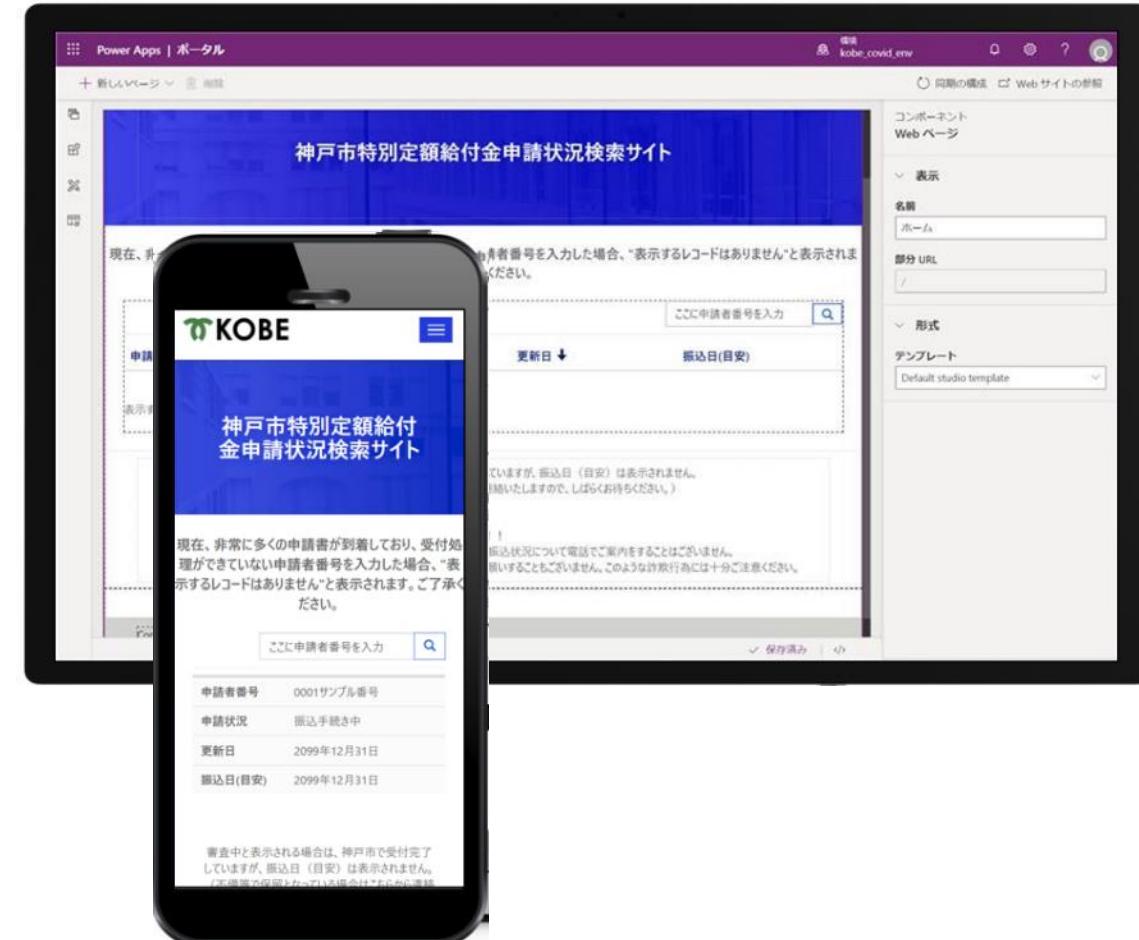
組織内・外、顧客やパートナー向けに、
多言語のレスポンシブなWebサイトの提供



Microsoft アカウント、LinkedIn、Azure AD B2C などの商用またはエンタープライズ
ログイン プロバイダーや、匿名アクセスが可能



フォーム、ビュー、グラフ、ダッシュボードなど、使い慣れた構成要素を使用して CDSデータを有効利用

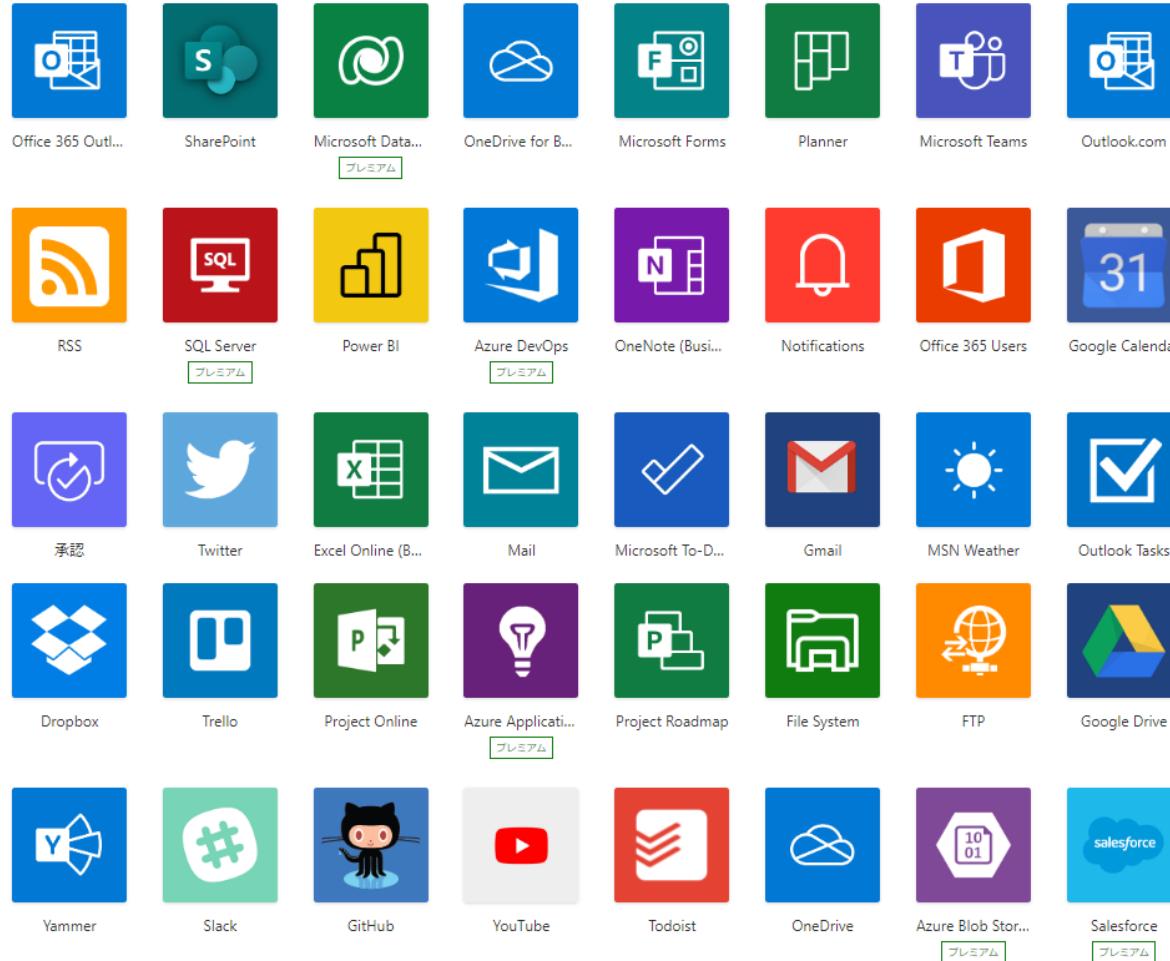


Power Automate



無償/有償 Power Automate (クラウドフロー)

Power Platformでは、データソースやサービスへの接続にコネクタを使用



- ・コネクタには、標準コネクタ、プレミアムコネクタ、カスタムコネクタがある
- ・無償で使用できるのは標準コネクタのみ
- ・有償ではプレミアムコネクタ、カスタムコネクタも使用可能

※ライセンスの種類により、
1日当たりに可能なAPIコール数の上限が異なります

有償 Power Automate for desktop

Power Automate for desktop (無償)には含まれない機能を使いたい時

- ・ クラウドフロー(自動フロー、インスタントフロー、予定フロー)
- ・ 無人型デスクトップフロー
 - ・ データの保存と管理
 - ・ AI
- ・ データへの接続

	無人型 完全自動化	有人型 人がトリガー
概要	ボリュームが大きく、時間がかかるタスクを、指 1 本動かさずに自動化	デスクトップやウェブ上で手動で行っているタスクの効率化と自動化
シナリオ	会社の大規模プロセスの自動化	オンデマンドのタスクの自動化
対象者	RPA専任の Center of Excellence および自動化のスペシャリスト	ビジネスユニットにおける市民開発者
必須条件	特定のマシンにおけるジョブ/ロボットが業務をこなすこと	ユーザーが各自の端末にサインインしていること/人がトリガーとなること

有償版の メリット

Microsoft Dataverse

プレミアム & カスタムコネクタ

オンプレミスデータゲートウェイ

モデル駆動型アプリ

Power Apps Portals

Power Automate for desktop

無償・有償 の選び方

無償版・有償版のどちらを使うべきか判断の基準は**3つ**

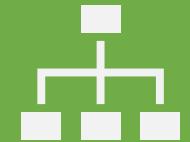
開発規模



データソース



ガバナンス



無償版・有償版のどちらを使うべきか判断の基準は**3つ**

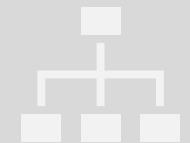
開発規模



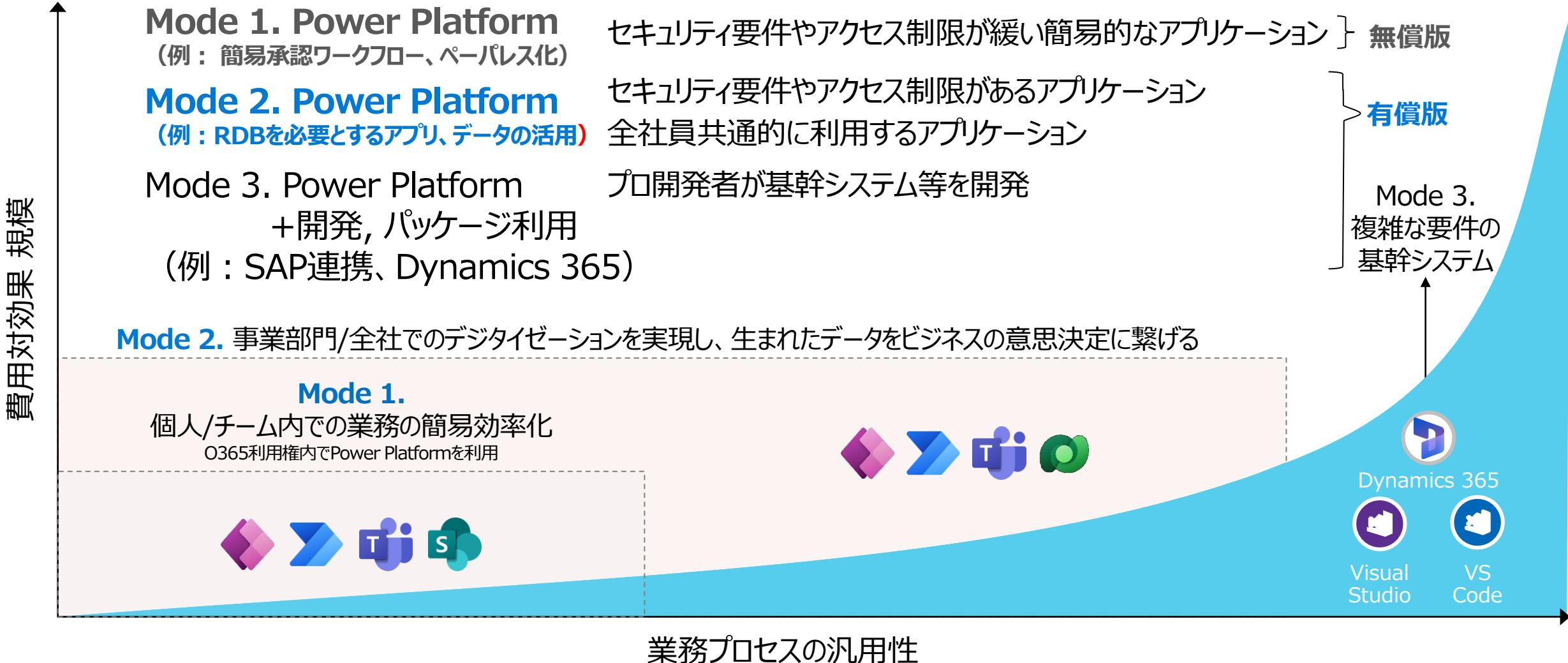
データソース



ガバナンス



開発規模で開発手法を選ぶ



無償版・有償版のどちらを使うべきか判断の基準は**3つ**

開発規模



データソース



ガバナンス



データソースでライセンスを選ぶ



SharePoint Online リスト

- 初級開発者による構築と保守
- データ件数**5000件**までを推奨
- 標準コネクタを使用したネイティブ接続
- O365 と Power Platform で共有される、**少量で単純な非リレーションナルデータモデル**に最適
- IT プロフェッショナルとスーパーユーザーによって管理される
シンプルなアクセス許可グループ



Dataverse for Teams

- 初級開発者による構築と保守
- 2GB or 100万行**まで利用可能 (実行はTeams上のみ)
- Microsoft Teams とのネイティブ接続
- Microsoft Teams のみで使用する**少量のリレーションナルデータ構造**に最適
- Dataverse へのワンクリック アップグレード
- OMG (所有者、メンバー、ゲスト) のアクセス許可



Microsoft Dataverse

- スーパー ユーザーによる構築と保守
- プレミアム コネクタ¹によるネイティブな接続
- 大量のトランザクションデータ (データ、ファイル、ログ) に最適
- 多言語と多国通貨を既定でサポート
- 高度なロールベース アクセス制御 (RBAC)
- 自動負荷分散、バックアップ、リストア、監査ログ
- カスタマイズ可能な**重複データ検出**とビジネスルール



オンプレミス データ

- IT プロフェッショナルによる構築と保守
- オンプレミス データ ゲートウェイ を利用した接続
- レガシマスター データとシステムへの接続に最適
- Power Apps、Power Automate、Power BI で同じゲートウェイを共有
- 負荷分散用の構成が可能



Azure 上の SQL

- IT プロフェッショナルによる構築と保守
- プレミアム コネクタを利用した接続
- 異種混在のシステムで共有される**大容量のマスター データ**に最適
- IT プロフェッショナルによってカスタマイズ可能な RBAC (ロールベース アクセス制御)
- IT プロフェッショナルによってカスタマイズ可能なビジネスルールとデータ品質ツール

無償(O365/M365付帯)で可能

有償orD365付帯で可能

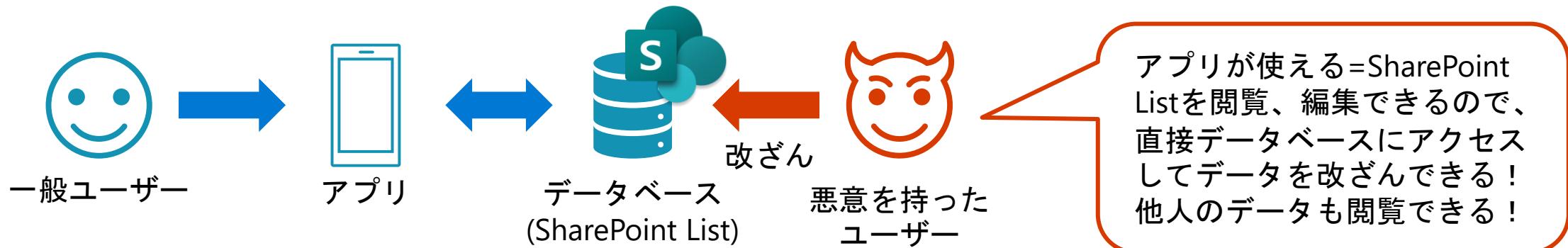
有償で可能

※Excelをデータソースとすることは個人利用以外では基本的に非推奨

Dataverseが必要なシナリオ データの改ざんを防ぐ必要がある場合

例) 勤怠管理など機密性、正確性が重要なアプリ

SharePoint の場合



Dataverse の場合



無償版・有償版のどちらを使うべきか判断の基準は**3つ**

開発規模



データソース



ガバナンス



有償で使用できるガバナンス機能①

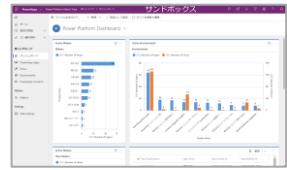
Center of Excellence (CoE) Starter Kit

- 組織内でのPower Platform 運用・管理・自動化を始められるように、 Power PlatformのサンプルテンプレートとしてMicrosoftが作成したものを無償提供
- キットは管理用コネクタやAPIを活用し全て Power Platformのコンポーネントで構成
- キットのシナリオは、実際の大規模顧客での運用で得られたベストプラクティスに基づき作成

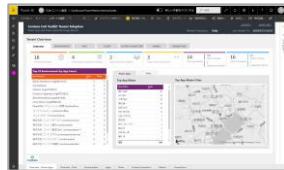


CoE Starter Kit の構成要素

コアコンポーネント



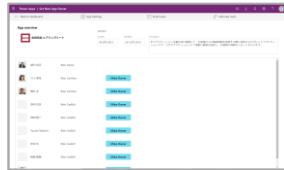
テナント内の
リソースカタログ



テナント全体利用状況可
視化



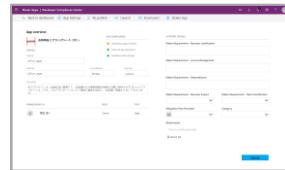
DLPエディタ



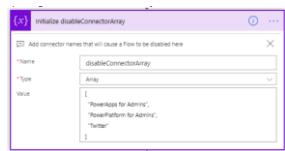
アプリ所有者の変更

テナント内にあるリソースの一元管理や、監査ログの可視化、DLPエディタ、アプリ所有者の変更などの管理者用コンポーネント

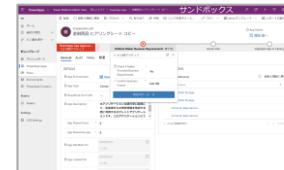
ガバナンスコンポーネント



アプリ申請



特定アプリの監査



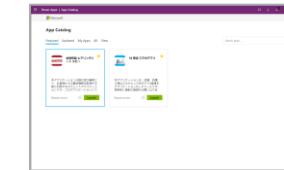
管理者による
アプリ審査



未使用アプリ
自動アーカイブ

環境やアプリ作成後のガバナンスプロセス(アプリの申請、特定コネクタ・アプリの使用状況、自動アーカイブなど)を支援するためのコンポーネント

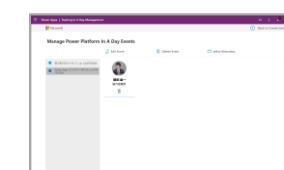
育成コンポーネント



アプリカタログ



テンプレート
カタログ



社内トレーニング
イベント管理



Welcomeメール

CoE確立のために不可欠な、アプリ作成者や社内コミュニティ育成を支援するためのコンポーネント

注意

本キットはPower Platform プロダクトチームが提供しているサンプルソリューションである為、
キット自体への公式のサポートは受けられません。代わりにGithub上でコミュニティー形式でサポートやバグの報告を行っております。
<https://github.com/microsoft/powerapps-tools/issues>

有償で使用できるガバナンス機能②

Power Automate for desktop の監視機能

The screenshot shows the Power Automate for desktop interface. On the left, there's a sidebar with various navigation options like Home, Implementations, My Flows, Create, Templates, Connectors, Data, and a highlighted 'Watch' section. Below that is a 'Cloud Flow Activity' section with a red box around it, and a 'Desktop Flow Execution' section which also has a red box around it. The main area displays a table of execution logs for a specific desktop flow. The columns are 'Request Date' (最新の情報に更新), 'Desktop Flow' (デスクトップフロー実行), 'Status' (状況), and 'Execution Start Time' (実行開始日時). The table lists multiple successful executions of a flow named 'コントロ請求書日本語' from October 21st to June 24th.

要求済み ↓	デスクトップフロー	状況	実行開始日時
10月21日 15:01 (4か月前)	コントロ請求書日本語	成功	10月21日 15:01 (4か月前)
10月20日 12:48 (4か月前)	コントロ請求書日本語	成功	10月20日 12:48 (4か月前)
10月15日 13:03 (4か月前)	コントロ請求書日本語	成功	10月15日 13:02 (4か月前)
10月4日 13:01 (4か月前)	コントロ請求書日本語	成功	10月4日 13:00 (4か月前)
9月9日 10:06 (5か月前)	コントロ請求書日本語	成功	9月9日 10:05 (5か月前)
8月3日 16:47 (6か月前)	コントロ請求書日本語	成功	8月3日 16:40 (6か月前)
7月16日 15:55 (7か月前)	コントロ請求書日本語	成功	7月16日 15:55 (7か月前)
7月16日 15:55 (7か月前)	コントロ請求書日本語	成功	7月16日 15:54 (7か月前)
7月16日 15:12 (7か月前)	コントロ請求書日本語	成功	7月16日 15:11 (7か月前)
7月16日 15:05 (7か月前)	コントロ請求書日本語	失敗	7月16日 15:05 (7か月前)
7月12日 14:20 (7か月前)	コントロ請求書日本語	成功	7月12日 14:19 (7か月前)
7月8日 10:27 (7か月前)	コントロ請求書日本語	成功	7月8日 10:25 (7か月前)
6月30日 09:48 (8か月前)	コントロ請求書日本語	成功	6月30日 09:47 (8か月前)
6月30日 08:37 (8か月前)	コントロ請求書日本語	成功	6月30日 08:35 (8か月前)
6月29日 16:04 (8か月前)	コントロ請求書日本語	成功	6月29日 16:04 (8か月前)
6月29日 15:55 (8か月前)	コントロ請求書日本語	成功	6月29日 15:54 (8か月前)
6月24日 11:01 (8か月前)	コントロ請求書日本語	失敗	6月24日 11:01 (8か月前)

Power Automateの監視機能

[デスクトップフロー実行]で表示される履歴は**有償ライセンス保有者のデスクトップフロー実行履歴のみ**

- 無償版Power Automate for desktopにはクラウド側に実行ログを吐き出す機能がないため、監視対象とならない。
- 無償版の実行履歴の監視をする機能は提供していない。
- 無償版ユーザーがどのようなフローを作成したか監視することは可能。

無償版・有償版のどちらを使うべきか判断の基準は3つ

開発規模

組織全体で使用する
アプリ・フローを開発する場合は**有償**



データソース

大量のデータを扱うまたは、
外部のデータソースを使用する場合は**有償**



ガバナンス

CoE Starter Kitを使用するまたは、
Power Automate for desktopを組織で
使用する場合は**有償**





適切なライセンスを選択して
Power Platform を有効活用しましょう！



© 2023 Microsoft Corporation. All rights reserved.

この資料に記載されている情報は、情報の提供のみを目的としており、この資料の発行時点におけるマイクロソフトの見解を反映したものです。市場および他社製品も変化していくため、発行以降の正確性に関して、マイクロソフトはいかなる保証もいたしません。明示、黙示または法律の規定にかかわらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。